

九州歯内療法学会・学術講演会

(日本歯内療法学会協力団体)

学術講演 1

「接着技術の進化と歯内療法への臨床応用」

小倉北区開業 西田くらら 先生

歯科医療における接着技術は、過去数十年にわたり急速な進歩を遂げてきました。1955年にBuonocoreによってエッチング技術が導入されて以来、接着システムは3ステップからより簡略化された1ステップへと変化してきました。この進化は、治療の効率性向上をもたらす一方で、「接着の質」と「耐久性の維持」の両立という新しい課題に注目が集まっています。本講演では、接着技術の歴史的発展を概観するとともに、現代の歯科治療、特に歯内療法における接着の重要性を探ります。エッチングとボンディングのメカニズム、そして接着性モノマーの役割について解説し、臨床応用における注意点を提示します。

学術講演 2

「歯科保存専門医に求められるのは何か」

九州歯科大学口腔保存治療学分野 北村 知昭 教授

日本歯科専門医機構が認定し厚生労働省が広告可能とした歯科保存専門医が2024年に誕生しました。歯科保存専門医は「歯・歯周組織の基本的管理能力を背景として、保存修復・歯内療法領域において科学的根拠に基づく専門的・統合的治療を要する疾患に対応する専門医」と定義されています。歯科保存専門医に対し、患者は専門機材を駆使した高度な技術と共に、患者が納得する科学的根拠を提示できる専門能力を求めています。一方で、歯科保存専門医には専門的治療を発展させる上で必要な科学的根拠を創出する役割も求められています。今回、患者が求める治療と患者への還元を前提とした技術開発について、歯科保存専門医の立場から概説します。

2025年2月9日（日） 10:00～13:30

会場：小倉歯科医師会館大会議室

(北九州市小倉北区大手町11-6)

(会館に20台ほど駐車できます。満車時は近隣のコインパーキングへ)

参加費：5,000円（申込不要/参加費は当日会場で申し受けます。）

・日本歯内療法学会又は九州歯内療法学会の会員でなくてもご参加いただけます。(学生、研修医、歯科衛生士は無料)

お問い合わせ先：九州歯内療法学会事務局 kyushuendo@gmail.com